

憲法改正における現実的対応

平成国際大学名誉教授 慶野義雄

令和5年11月号(306号)
(皇紀2683年) 毎月1日発行

新風

編集人 川畑賢一

発行人 魚谷哲央
年間購読料 2,000円

維新政党・新風本部
〒604-0934 京都市中京区麩屋町通二条下ル
第2ふじビル4階
TEL.075-708-3700 FAX.075-708-3800
https://shimpu.jpn.org/
otayori@shimpu.jpn.org



未だ覚めずストックホルム症候群

日本国憲法は、マッカーサーが、敗戦国日本に対し、一方的、高圧的に押し付けたものである。占領下で銃剣の下に憲法改正を強要することは、ヘーグ陸戦条規などに照らして重大な国際法違反であるが、米軍は日本人が自ら憲法草案を作ったかのやうに偽装した。占領が間接統治方式であったことは憲法が押し付けであることから日本人の目を逸らせた。G

HQと日本政府の連絡役を務めた白洲次郎は、日記に「強姦されて」この忌まはしい憲法が生まれたと記してゐる。当初、マッカーサー

前全文カットで日本の憲法に

人と時間と場所を共有した結果、解放後も犯人に好意と共感を抱くやうになることが知られてゐる。

松本大臣は、素人が書いた奇妙な文学もどきの前文原案に大いに呆れる。こんなものを憲法草案に組み込むなど一流の法学者である松本大臣のプライドが許さない。しかも、GHQからは大きな部分は変へないやうにと釘を刺されてゐる。松本のやむを得ぬ選択は、「前文削除」。前文「全文削除」だ。松本はこの草案から前文を削除してGHQに提出した。民政局からの激しい抗議がある

九条カットは緊急課題

国際環境はかつてないほど緊迫してゐる。中立条約を干犯し、北方四島、千島を奪つた前科者の後継者ロシアは、ウクライナ侵攻といふ暴挙を繰り返してゐる。北朝鮮は、ミサイル発射を繰り返して、核配備を進めてゐる。麻薬売買や電子マネー詐欺などの犯罪でその資金を得てゐる。日本人を拉致した過去もある筋金入りの犯罪国家である。ロシアと北朝鮮は急接近し悪の同盟を深化させてゐる。習近平独裁の中国は、我が領海、排他的経済水域での活動を活性化させ、自国領を拡大した地図を作つて侵略主義的姿勢を強めてゐる。台湾侵攻の可能性も現実味を帯びてゐる。中国は、世界

中に海外警察をおくなど、近代国際法の基本原理さへ守らぬ野蛮国家である。昨年十二月、政府は「防衛三文書」を閣議決定し、敵基地攻撃能力の保有、令和九年度までに防衛予算をGDP比二%にすることなどを決定した。防衛費二%は欧州諸国と比べれば相場ではある。五年後には世界第三位の防衛費になる。だが、防衛予算の増強以上に重要なのは防衛費の効果的使用である。憲法九条の制約を理由に折角の防衛費をドブに捨ててゐないか。専守防衛の名のもとに爆撃装置を外したり、兵器の射程をわざわざ短くしたりしてゐないか。自衛隊の装備は、国際価格に比べ異常に高い。憲法九条を削除するだけで作戦の幅が広がり防衛効率が二倍になる。兵器を大量調達すれば単価は大幅に下がる。防衛費だけ聖域と考へてはいけない。九条削除と防衛予算行使の監視体制確立によつて国防力は四倍にも五倍にもなるはずである。

GHQが作成した原案を受け入れた。精神医学では、銀行強盗事件のやうに監禁や誘拐などで恐怖を与へられた人質が、犯

前文には一定の効用もある。憲法の顔に外国製といふレッテルが貼られてゐるやうなもので、国民は、この憲法が外国製

悪の同盟を深化させてゐる。習近平独裁の中国は、我が領海、排他的経済水域での活動を活性化させ、自国領を拡大した地図を作つて侵略主義的姿勢を強めてゐる。台湾侵攻の可能性も現実味を帯びてゐる。中国は、世界

中に海外警察をおくなど、近代国際法の基本原理さへ守らぬ野蛮国家である。昨年十二月、政府は「防衛三文書」を閣議決定し、敵基地攻撃能力の保有、令和九年度までに防衛予算をGDP比二%にすることなどを決定した。防衛費二%は欧州諸国と比べれば相場ではある。五年後には世界第三位の防衛費になる。だが、防衛予算の増強以上に重要なのは防衛費の効果的使用である。憲法九条の制約を理由に折角の防衛費をドブに捨ててゐないか。専守防衛の名のもとに爆撃装置を外したり、兵器の射程をわざわざ短くしたりしてゐないか。自衛隊の装備は、国際価格に比べ異常に高い。憲法九条を削除するだけで作戦の幅が広がり防衛効率が二倍になる。兵器を大量調達すれば単価は大幅に下がる。防衛費だけ聖域と考へてはいけない。九条削除と防衛予算行使の監視体制確立によつて国防力は四倍にも五倍にもなるはずである。

新風驟雨

しんぶうしゅう
▼昨今の猛暑大雨等をCO2が原因のやうに伝はつてゐるが本当だらうか。旧約聖書にあるノアの方舟はじめ古代各地で起つた大河の氾濫もCO2か。▼我国も世界に見栄を張つてCO2の大幅削減を宣言し、太陽光・風力発電に躍起となつて再エネ発電賦課金が三兆円近くになると云ふ。▼我国にはクールジェンプロジェクトと云ふ世界に先駆けた石炭発電でCO2を九十%回収して農業・コンクリート・化学製品等に利用する技術がある。嘗て若い大臣が世界会議で石炭を多く使ふと言はれてニヤニヤ笑つて其の場を取り繕つてゐたが、何故反論して売り込まなかつたのか。たぶん知らなかつたのだらう。▼植物はCO2を必要とする。CO2を多く投与したトマトは収穫量が四倍になつたとの結果も出てゐる。牛等の反芻動物のゲップが問題と云はれるが、牧草が良く育つてゐるではないか。▼嘗て汚染問題で大騒ぎをした瀬戸内海は今では透明度が上がり奇麗になつたが、海藻が無くなつて魚が減り、今年には鮫が不漁である。今ではCO2で海藻を育てる試みもあると聞く。CO2を極端に減らせば自然界への悪影響が考へられるのではないか。過去には酸性雨で大騒ぎしたが、山が枯れて土壌が酸性化した様な変化はない。▼ヨーロッパは日本車の性能に勝つてゐないでEVに舵を切つたが、アメリカ共に現在揺られてゐる。欧米の言動に左右される事なく本質を見極めた舵を切るべきと思ふが、どうする日本。(正)

本紙目次

- 一頁： 憲法改正における現実的対応
- 二頁： 新風ニュース他

(二面へ続く)